

平成30年(2018年)6月17日(日曜日)

# 三島のまちづくり議論

## NPOがシンポ 駅南口再開発など

三島市のNPO法人「グランドワーク」(GW)三島はこのほど、源兵衛川の世界水遺産登録の記念シンポジウムを市民文化会館で開いた。まちづくりなどについて考える講演やパネル討論が行われた。

パネル討論では東郷和彦県対外関係補佐官、市民団体「景観と住環境を考える全国ネットワーク」の日置雅晴代表(弁護士)、東京理科大学工学部の岩岡竜夫教授が参加。市が推進する三島駅南口東街区の再開発事業をテーマに意見交換した。

日置代表は個人所得が減少傾向にあることや、空き家率が増加している現状などを紹介し、「駅前だけ大規模な投資をしていいのか」と疑問を呈した。東郷補佐官と岩岡教授も、それぞれ「水の都・三島を次の世代に引き継がなければならぬ」「駅で魅力を発信し、回遊してもらえらる再開発を」と事業は再考すべきとする議論を主張した。

(三島支局・仲瀬駿介)



三島駅南口再開発事業について意見交換する参加者  
＝三島市民文化会館